

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス		都城キャンパス	開設学科		環境園芸学科
科目名称 [英語名称]	庭園学 [Garden]			実務経験 教員担当	○	アクティブ ラーニング	○
科目コード	231400	授業形態	講義	単位数	2	配当学年	2年次
教員氏名	牧田 直子			学位授与の方針 との関連	DP1(1) DP2(2) DP3(3)		
授業概要	<p>庭は造園空間として最も基本的な単位であり、人々の生活にとって最も身近な環境です。特に住宅庭園は、暮らす人と、暮らし方、環境、地域など様々な要件が関係します。本授業では庭の本質や特質、人間の生活の基本となる住環境のあり方、現代社会における庭園の役割を学習します。さらにエクステリアプランナー資格(2級)取得を目指し、エクステリアプランナーとして必要な知識を身につけます。住宅関連業界、コンサルティング業界で20年以上勤務し、戸建て住宅、分譲地等において、主にマーケティング業務に携わった経験を持つ教員が、実務経験から得た内容や業界の動向など最新情報や実例を提示しながら講義します。</p>						
関連する科目	庭園学演習を受講し、住宅庭園の製図作成を並行して受講することが望ましい。また、造園植栽論を受講し、植栽についての知識を同時に得ることも望ましい。						
授業の進め方と方法	<p>授業では、座学型とアクティブラーニング型の両方を取り入れています。アクティブラーニングとしては提示されたテーマについて、背景や経緯、問題定義や疑問点を話し合うグループディスカッションや、アイデア想起、プレゼンテーションなどを実践します。座学では、庭園様式、構成要素、作庭技術、法規について実例を挟みながら解説を行います。メモをとり本授業専用のノートを作成してもらいます。ノート作成に必要な画像や資料はその都度配布します。</p>						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 原風景と美意識 庭の起源、庭の原点ともなる原風景について考えます。西洋と日本の美意識の違いを学びます。各人の原風景を描写し発表してもらいます。</li> <li>2. 庭とは 庭、造園、エクステリア、園芸について、それぞれの違いや役割について学びます。住宅庭園を設計する上で知っておかなければならない住宅(建築)の基礎、住宅業界について学びます。</li> <li>3. 庭園計画コンセプト5W1HとPDCA 庭園計画に必要なコンセプトの考え方、コンセプト作成の手法について学びます。アイデア想起を行います。</li> <li>4. 販売促進活動とコピーライティング ものを販売するための仕組みや手法について学びます。実際にコピーライティングを行います。</li> <li>5. 庭の提案(グループ作業) ここまで学習して得られた知識を生かして住宅庭園の提案を考えます。簡単なチラシを作成してもらいます。</li> <li>6. まちづくり、法規 街並みやまちづくりの考え方と住宅建築に関する法規について学びます。</li> <li>7. エクステリアのプランニング プランニングのプロセスやエクステリアを構成する要素について学びます。</li> <li>8. 構成部材 エクステリアに用いられる構成要素に関連する材料とその特徴について学びます。</li> <li>9. 植栽 エクステリアに用いられる植栽について学びます。ナチュラルスティックガーデン植栽技法、ハーブの効能なども解説します。</li> <li>10. 原価管理と工程管理 積算について学びます。積算の練習問題を行います。また工程管理計画の作成方法を学びます。</li> <li>11. 造園家とその作品 代表的な造園家の作品を解説します。またガーデニングコンテストの作品やガーデニングの現況を事例を見て学びます。</li> <li>12. 庭の形式と様式 日本特有の庭園の形式や石組み、西洋庭園にみる庭園の要素などについて学びます。</li> <li>13. エクステリアの事例報告 学習で得た知見を活かし自身が評価する庭(事例)を選び、解説してもらいます。</li> <li>14. エクステリアプランナー2級試験対策 エクステリアプランナー2級試験の過去問を解いてみます。内容と解答を解説します。</li> <li>15. 総括 1回～14回までの内容をふりかえります。エクステリアプランナーとして必要な用語と意味を復習します。</li> </ol>						
授業の到達目標	庭園の本質や特質、利活用、法規、住宅市場に関する基礎知識、住宅庭園(エクステリア)の設計や提案に必要なアイデア想起力、マーケティング力、プレゼンテーション力の習得を目標とする。また、知識や考え、実例をまとめ発表したり記述する基礎力を習得も目指します。						
授業時間外の学修	授業でとったメモ等をまとめたおし、ノートをきちんと作成する。授業中に学習した内容に関連するキーワードや専門用語について調べてくる。						
課題に対するフィードバック	提出物を返却します。			評価方法	記述試験(80%) 提出物や発表など(20%)		
テキスト	プリント資料を配布する						
参考書	授業時に紹介する。						
備考							